



福山コン
サルタント

福島 宏治 社長

得意分野のトップ目指す

第3次長期プラン（2014年6月期～19年6月期）5年目の18年6月期決算は、売上高が3期振りに減少したものの、営業利益、経常利益は3期連続で過去最高を更新した。「売上高の減少は残業時間を減らして量を追わなかったため。利益が上れば雇用は安定する」と、付加価値向上の目標に沿った業績の推移を強調する。今後も「社

員一人当たり、時間当たりの生産性を最大化することで労働時間を縮減し、余力を新規事業に振り向ける」方針だ。長期プランの最終となる今期は、18年7月に持株会社・FCホールディングスのグループ会社となるSVI研究所（東京都文京区）を立ち上げた。位置情報やビッグデータなどを活用した事業モデルの販売に向け、

インフラ（GI）を中心とする連携協定の関連事業も順調で、「地域産業を支援するためホップの栽培を始めた。ことし中にビールを販売し、他地域にも展開したい」と意欲をみせる。今後も環境分野などの業容を拡大し「総売上高ではなく得意分野や事業展開エリアのトッププランナーを目指す」考えだ。

働き方改革では、19年7月から採用が一層加速する」と期待を寄せる。社員教育では、多様な人材を育成するため、工学系の博士号取得支援に加え、MBA（経営学修士）、MOT（技術経営修士）等の取得支援を始める。「マネジメントやファイナンス、金融工学などの専門分野を修得することで組織に厚みがある。経営経験者などの中途採用や技術研修のための出向、定年制度の見直しにも取り組む」と将来に向けて布石を打つ。

「19年度から2年間は社員を専任させる」と意気込みを語る。8月にはエコプラン研究所（北九州市）がグループに入り、NPO法人を加えた3社の共同事業体が北九州市響灘ヒオトーブの指定管理者に選定された。茨城県守谷市と締結したグリー

ラ勤務地限定社員制度の導入を検討しており、「通勤できるエリアを設定し、介護や育児などで一定期間利用することも可能にしたい」と話す。女性活躍推進企業の「えるぼし認定」の申請も行っており、「勤務地限定社員制度の導入で女性技術者の

創業70周年を迎え、9月に中国支社の新社屋を完成させるほか、東京と福岡で記念イベントを開く予定だ。また、「M&A（企業の合併・買収）や研究開発関連の事業化によってグループを5社から7社体制に増やす。第4次長期プランのスタートとなる来期中に達成したい」と体制強化を目指す。